

令和4年度いずみおおつ健康食育計画 中間評価

評価項目がいくつかあるうち、追跡調査できる28項目の指標を用いて説明します。目標値の評価として、評価Dが10項目(35.7%)と多く、次いで評価Aが8項目(28.6%)、評価Cが7項目(25.0%)、評価Bが3項目(10.7%)となっています。

		項目数	構成比
A	目標達成	8	28.6%
B	目標達成はしていないが、改善傾向	3	10.7%
C	変化なし(測定値に対して、±3%以内)	7	25.0%
D	悪化	10	35.7%
E	評価不能	0	0
合計		28	100%

主な取り組みの指標項目

指標項目		策定時 (R1)	現状値 (R4)	目標	到達状況
泉大津市の健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均、「要介護2~5」を健康でない期間として算出)	男性	78.98歳 (H28)	78.9歳 (R1)	1.5歳以上 延伸	C
	女性	83.64歳 (H28)	83.8歳 (R1)		C
がんの年齢調整死亡率(75歳未満) *人口10万対		81.6 (H29)	68.3(R2)	74.5以下	A
心疾患の年齢調整死亡率 *人口10万対	男性	98.6 (H29)	109.5(R2)	93.6以下	D
	女性	53.5 (H29)	45.9 (R2)	50.8以下	A
脳血管疾患の年齢調整死亡率 *人口10万対	男性	23.5 (H29)	25.5(R2)	22.3以下	D
	女性	18.0 (H29)	11.5(R2)	17.1以下	A
がん検診の受診率(市がん検診)	胃(50~69歳)	14.7 (H30)	9.7 (R3)	50%以上	D
	大腸(40~69歳)	16.9 (H30)	18.7 (R3)		B
	肺(40~69歳)	11.3 (H30)	12.1 (R3)		B
	乳(40~69歳)	38.4 (H30)	36.4 (R3)		D
	子宮(20~69歳)	39.9 (H30)	40.5 (R3)		C
特定健康診査の受診率(市国保)(40~74歳)		39.5 (H30)	概算37.0 (R3)	60%以上	D
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合(市国保)	男性	49.7 (H30)	50.1 (R3)	45%以下	C
	女性	16.2 (H30)	16.7 (R3)	15%以下	D
高血糖治療域(空腹時血糖126mg/dl以上、随時血糖200mg/dl以上、またはHbA1cNGSP値6.5%以上)の割合(市国保)	男性	16.1 (H30)	17.0(R3)	15%以下	D
	女性	6.9 (H30)	7.2(R3)	6%以下	D
けんしんウェブ予約システム登録アカウント数		661人 (H30)	4,309人(R3)	3,000人以上	A
あしゆび力測定者数(講座、イベント等)		1,384人 (H30)	1,358人 (R3)	2,000人以上	C

内容別にみると、胃がん検診と乳がん検診、特定健診の受診率で評価Dとなっています。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、コロナ前と比較して、がん検診・特定健診の受診率が下がっているため、さらに受診勧奨をすすめていく必要があります。他にも高血糖治療域の割合が男女とも評価Dとなっており、女性のメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合も評価Dとなっています。未治療者に対しては医療機関への受診を勧奨する必要があります。また、男性の心疾患の年齢調整死亡率、男性の脳血管疾患の年齢調整死亡率は上がっており、評価Dとなっています。一方で、がんの年齢調整死亡率、女性の心疾患の年齢調整死亡率、脳血管疾患の年齢調整死亡率は下がっており、目標値を達成しております。けんしんウェブ予約システム登録アカウント数も増加しており、今後もけんしんを受けやすい環境の整備をすすめていきます。

妊娠・出産・乳幼児期（0～5歳）

指標項目		策定時（R1）	現状値（R4）	目標	到達状況
乳幼児健診の受診率	4か月児	97.6%（H30）	98.9%（R3）	98%以上	A
	1歳6か月児	96.1%（H30）	96.7%（R3）	97%以上	C
	3歳6か月児	92.8%（H30）	94.8%（R3）	95%以上	C
3歳6か月児のむし歯保有率		14.0%（H30）	9.3%（R3）	12%以下	A
妊婦の喫煙率		4.5%（H30）	2.8%（R3）	0%	B

妊娠、出産、乳幼児期については、4か月児健診の受診率、3歳6か月のむし歯保有率が評価Aとなっています。今後も乳幼児をもつ保護者の心身の健康に配慮し、子どもが健やかに育まれるよう、親子の健康づくりを支援していく必要があります。

学童・思春期（6～19歳）

指標項目		策定時（R1）	現状値（R4）	目標	到達状況
肥満度20%以上の子どもの割合	小学生	6.7%（H29）	8.3%（R3）	減らす	D
	中学生	7.4%（H29）	6.4%（R3）		A
むし歯のある子どもの割合	6歳	34.7%（H30）	26.4%（R2）	33%以下	A
	12歳	32.1%（H30）	41.6%（R2）	30%以下	D

学童・思春期については、6歳のむし歯のある子どもの割合、中学生の肥満度20%以上の割合の評価がAとなっています。一方で、小学生の肥満度20%以上の割合、12歳のむし歯のある子どもの割合の評価がDとなっています。今後も歯磨き指導や心の健康、病気の予防など健康な身体づくりへの取り組みをさらに推進していく必要があります。